



# 「あたりまえ」の ご守護に感謝の心を

## 11月大教会教会長会議

立教186年11月22日

大教会長 片山幹太



発行所 〒763-0223 香川県丸亀市本島町泊268  
**天理教本島大教会**  
電話 0877-27-3321 (代)  
本島通信編集室 R231125-1127-12  
奈良県天理市指柳町270-1  
本島詰所 〒632-0093  
電話 0743-63-1571 (呼)

https://www.honjima.com  
Email: webmaster@honjima.com

大教会 朝夕おつとめ時間  
【11月1日～12月31日】  
朝づとめ 午前6時45分  
夕づとめ 午後6時00分

教祖年祭活動を歩ませて頂く上で、親神様のご守護や親心に気づき、感謝の心を持たせて頂くことが、とても大切だと思います。

普段から習慣のように「ありがとう」「ありがとう」と感謝の言葉を使うことで、親神様のご守護や親心に気づく感度が上がり、喜びにつながるのではないのでしょうか。

「感謝」の対義語は「あたりまえ」と言われます。

親神様のご守護があたりまえになると、感謝は生まれず、ご恩報じの歩みもできなくなるでしょう。

「あたりまえ」について、宮崎伸一郎先生の著作から一つ引用させていただきます。

人は病気の時に健康のありがたさを知る。

という言葉があります。

以前、三十代の若さでガンのため

に亡くなったある医師が、死の直前に最愛の妻と幼い我が子に「あたりまえ」という詩を書き残しています。

あたりまえ

こんなすばらしいことを、

みんなはなぜよるこばないのでしょ

うあたりまえであることを

お父さんがいる、お母さんがいる

手が二本あって、足が二本ある

行きたいところへ自分で歩いてゆける

手をのばせばなんでもとれる

音がきこえて声がでる

こんなしあわせはあるのでしょうか

しかし、だれもそれをよるこばない

あたりまえだと、笑ってすます

食事がたべられる

夜になるとちゃんと眠れ、そして又

朝がくる

空気をむねいっぱいにすえる

笑える、泣ける、叫ぶこともできる

走りまわれる

みんなあたりまえのこと

こんなすばらしいことを、

みんな決してよるこばない

そのありがたさを知っているのは、

それを失くした人たちだけ

なぜなのでしょう あたりまえ

(宮崎伸一郎著『しあわせに向かうキップ』より)

私たちの身体はかりもの、知

らず知らずのうちに心臓が動き、息

をして、内臓器官が働いています。

自分自身は何も意識しなくても、親

神様のお働きを頂いているのです。

このことを自覚し、皆さまに伝え

ることが、布教活動の基本ではない

かと思えます。

おふでさきに、

めへくのみのうちよりのかりも

のを しらずにいてハなにもわか

らん (三号17)

とあります。

註釈には「人々が、身体は親神か

ら借りているという事を知らずにい

るようでは、それ以外の事は、何も

分かるはずがない。」とあります。

それほど、かしの・かりもの

の教理がお道の信仰の根幹にあるとい

うことです。

私たちはこの「かしの・かりも

の」の教理を自覚し、人様に伝えら

れるようになりましょう。そのため

にも日頃から、親神様への感謝、人

のご縁や物の恵みへの感謝を忘れない

いように日々通らせて頂きましょう。

感謝力が年祭活動の力になると信

じています。

(文責・本島通信編集室)

# 人をたすける心こそ 教祖がお喜び下さるお供え

大教会准役員 片山孝子



只今は冬の気配が深まる静けさの中、11月月次祭を大教会長様を忠に勇んでおつとめを勤めさせて頂き、この上ない喜びでございます。

神殿講話の勤めに与りましたので、届かぬ者ですが勤めさせて頂きます。よろしくお願いいたします。

私の友人の谷口さんは、ご主人が警察にお勤めでした。仕事柄、大変

でのお話を聞かせて頂いたとき、「私と同じいんねんだ。その中を心つないで通られた谷口さんは、なんと立派な人だろう」と尊敬の念を抱きました。

もう一人、中井さんという友人がいます。この方のご主人も警察にお勤めです。そして谷口さんと中井さんと私の3人は、月に一度会ってお話するようになりました。そして2、3年経った頃、厳しい谷口さんのご主人が、私と中井さんにお土産のお菓子を買って持たせてくれるようになりました。

私はそのご主人のお気持ちが嬉しく、戴いたお菓子を教祖へお届けすることを思いつき、本部教祖殿でお勤めの片山よ志多前会長様に事の次第を申し上げて、お供えさせて頂くことが始まり、数年経ちました。

そのうち、教祖へお供えしていることがご主人に伝わり、それからデパートまで出かけて、心を込めて選りすぐりの品を持たせて下さるようになりました。

谷口さんのお話では、教祖へお供えさせて頂くようになったご主人がとても優しくなった。重いものを持ってくれる。労りの言葉をかけて

くれる。金銭面でも大変厳しかったのが、今では過分に渡してくれるようになったと言われます。

教祖へお菓子をお届けするささやかな事でも、何年も続けていくと、いんねんをありがたい姿に少しずつ変えてくださることを目の当たりにしています。

榊井孝四郎先生の著書に次のことが記されています。

「何も持つて来たからとてお喜び下さる教祖ではない。物であつて物でない、心である。その真実である。その真実とは「人をたすける心が真実やがな」と聴かせて頂いておる。これが教祖が一番お喜び下さるお供えである。」

これからも、教祖におたすけ頂けるようお願いしつつ、寄り添ってまいりますと思っております。

さて今年7月の大教会神殿講話はポートランド教会長・片山和信先生が「ひながたの道をまず三日間定めて通ろう」と題してお話し下さいました。

その話には私は大変勇気づけられ、私も3日間おさづけを取り次がせて頂くとうと決心し、ある方に約束を取

り付けました。

その方はご主人の介護で腰を痛めてしまったとのことですので、初日は玄関先ではありましたが、おさづけを取り次がせて頂くことができませんでした。

次の日、意気揚々と玄関を開けますと、何やら取り込んでいる様子で「今はそれどころではないので、お断りします」と言われてしまいました。

私は教祖に申し訳ない気持ちになり、いろいろな反省する中、親の思いの受け止め方に思案が至りました。

大教会長様のお話を聞き漏らすまいと真剣に取り組んでいるのか、それとも近くに居ていつでも聞かせてもらえるという安心感から軽く受け止めているのか、そこから自ずと結果は異なってくると思えました。

それでもその方はその後、雑然とした玄関をすっきり片付けられ、腰の具合も良くなり、ご主人は以前のように介護施設へ出かけられるほど体調が快復されました。親神様は氣落ちした私を勇ませてくれたのだと思っています。

人様にたすかかって頂くことが何よりも大切なことですので、自分の力不足は大いに反省いたしました。

ありがたいことなのだと思うことができました。

昨年の秋季大祭で真柱様より「論達第四号」をご発布頂きました。

真柱様のお姿、ご自身のお口を通して、「全教の心を一つにしたい」と仰せられ、教祖140年祭に向かって私たちの進む道しるべをお示し下さいました。

私も年祭活動を一生懸命勤めさせて頂くことをお誓い申し上げたのですが、その10日後に私の教会活動の相棒である妹が突然出直しいたしました。

にちく／＼にをやのしゃんとゆうものわ たすけるもよふばかりをもてる(第十四号35)

この言葉を心の中で繰り返し唱えながら、過ごしてまいりました。

厳しい年祭活動のスタートとなつてしまいましたが、それでも大教会成人目標に「成人に向けて互いに励まし合ひましょう」とありますように、背中を押して下さる方、手を差し伸べて下さる教友の皆さまに助けられて、少しずつ前に進むことができいておりますことを心より感謝を申し上げます。

まだ輝かしい動きは一つも出来ていませんが、残された日々をとにかく勇んで、そして喜びの心をもって勤めてまいりたいと思いますので、ともに前進させて頂けますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。  
(文責・本島通信編集室)

布教部報告(11月分)

布教部では全教会提出(提出教会数の増加)を目指しています。右側の数字は今年1月からの報告回数です。毎月新たに「1」の教会が増えていくことが目標です。  
なお従来の「にをいがけ人数」は省略し、全体の総数のみ記載することにいたしました。

にをいがけ名簿提出教会 (11月)			おさづけ取次報告教会 (11月)		
本島 4	本千代 11	赤峰 11	本島 10	本千恵 7	赤峰 11
樺太 10	本千賀 7	雅峰 9	樺太 10	本葵 1	雅峰 9
本田中 2	本千治 7	吉峰 6	本田中 2	攝津 9	吉峰 5
本倉岡 11	本千恵 6	豪峰 11	本倉岡 11	本吹田 5	神峰 2
本樺 11	本萩 5	倉峰 10	本樺 11	本泉 7	豪峰 10
本室 11	本備前 9	大雄峰 3	本室 11	本太萩 5	大雄峰 6
渋谷 8	本府中 11	雄福峰 5	渋谷 8	本萩 7	雄福峰 5
御幸濱 3	沖浦 6	雄山峰 8	代々木 3	本水島 11	雄山峰 5
代々木 7	馬木尾 2	栄森峰 9	本萬代 7	安藝本中 6	栄東峰 5
本萬代 7	本清水 6	栄東峰 11	本京 11	本備前 11	霊峰 11
本都 11	崇徳 11	霊峰 11	本道盛 6	本府中 11	大陽聖峰 4
本京 11	与島 7	實峰 10	本草 3	沖浦 6	大松峰 3
本草 3	本勇 4	大陽聖峰 3	本恵山 8	馬木尾 1	大駿峰 8
本恵 8	本高 2	大松峰 3	本恵山 7	本清水 6	大英峰 5
本恵明 8	本宣道 10	大英峰 6	本恵明 8	崇徳 11	肥後八峰 7
本静濱 6	本九 4	文峰 7	本静濱 6	与島 7	銀峰 7
本日米 8	本小倉 3	肥後八峰 7	本日米 6	本勇 7	新信峰 4
本米臺 2	本陽山 10	鶴峰 7	本浜 8	本高 2	鶴峰 8
本米里 6	本肥港 4	都峰 7	本米 7	本九 3	都峰 5
	本新田 10	仙峰 11	本米里 6	本小倉 3	仙峰 11
			本千代 11	本陽山 10	カガバノウツ
			本千賀 5	本肥港 6	ハリウッド
			本千治 5		
計 59 教会 583 名			計 70 教会 1,587 回		

# 十一月月次祭 祭典役割

**献饗長** 岩橋竜造  
**伝 供** 向所隆文・永島宗行・大上道徳・原口実・後藤正治・伊東康成・高垣光治・吉田晴雄・茶屋原良昭・横山正次・高島栄造・長尾海和・岩橋守行・山下英久・鎌田典夫・宮路和徳・長濱充憲・肥後章・滑川善久・香川勝巳・古井信  
 村田輝夫・上山康雄・川村吉夫・白垣初生・大矢万三・江草克一・橋口徹  
**雅楽奉仕者** 池田恒治・片山秀明・伊東賢太郎・内橋和博・鎌田康典・伊東慎平・白垣俊生(順不同)

祭主 指方	大教会長	座りづとめ	てをどり前平	てをどり後平
	井上 哲			
岩橋竜造	岩橋竜造	大教会長	篠原丕王	原口 実
雲庵道延	雲庵道延	岩橋慶三	後藤正治	横関茂治
寺本教生	寺本教生	老木邦光	茶屋原良昭	大矢万三
牧野道昭	牧野道昭	会長夫人	岩橋元実	高垣洋子
西山道教	西山道教	片山やすゑ	岡崎むつゑ	片山美穂
窪田靖明	窪田靖明	池田さわみ	伊東晴美	佐藤道子
片山 榮	片山 榮			
長尾澄子	長尾澄子			
向所暉美子	向所暉美子			
片山孝子	片山孝子			
吉田要子	吉田要子			
雲庵まち子	雲庵まち子			
梅木澄代	梅木澄代			
谷口十糸子	谷口十糸子			
横関明美	横関明美			

## 十一月月次祭祭文

立教百八十六年十一月二十二日

この神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天理教本島大教会長片山幹太慎んで申し上げます

親神様には世界中の人間をたすけたいとの思召から教祖を神のやしろにこの世の表にお現れ下さりよろづ委細の元を明かしつとめを教えさづけの理をお渡し下され陽気づくめの世界へとお導き下さいます御慈愛の程は誠に有難く勿体ない極みでございます

私共は届かぬながらも御恩報じを念じて勇んでたすけ一条の御用に努め励ませて頂いておりますがその中にも今日の吉日は当大教会の月毎の御祭を勤めさせて頂く日柄でございますので只今から役目に与る奉仕者一同心を揃えて御教え通り座りづとめ・てをどりを陽気に勇んでつとめて十一月の月次祭をつとめさせて頂きます

御前には今日を乐しみに帰り集いました教え子達が日頃賜る厚き御恵みに御礼申し上げ尚も変らぬ御守護にお縋りする真実の状をも御覧下さいます親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

去る十月二十六日御本部秋季大祭において真柱様には論達に込められた思いに触れられ「よふばく一人ひとり教祖の道具衆としての自覚を高め、教祖のお心に溶け込んで、たすけ一条の道に励ませて頂くことが、私共の使命である」とのお言葉を受けて私共一同心勇んでおたすけ活動に励ませて頂く所存でございます

ございます

また大教会秋季大祭における神殿講話で世話人宮森与一郎先生からは教祖百四十年祭に向って二つの心の置き所として「日々のにをいかけ」「積極的なおたすけ」「おらばの理を戴く」とお教え下さいましたのでこれを指針に年祭活動に邁進させて頂く決意でございます

尚この月二十五日にはおらばにおいて「第九十七回天理教青年会総会」が開催されますので時旬のおらばの理を戴いて勢いをもって年祭活動の励みにさせて頂きたいと存じます何卒届かぬところ至らぬ点は幾重にもお仕込み下さいます一人でも多くのよふばくが教祖のお心通りに世界たすけの御用に励ませて頂きますようお願いの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます (原文のまま)

## 入社祭

立教186年11月の入社祭はありませんでした。

**11月22日(水)**  
**【香川県丸亀市】**

天候 晴一時曇  
 最低気温 6.2℃  
 最高気温 17.1℃  
 平均気圧 1019.1 hPa  
 平均湿度 82%  
 平均風速 1.4 m/s  
 日照時間 9.3 時間  
 降水量 0.0 mm

### 本新田分教会4代会長就任奉告祭



本新田分教会(窪田卓夫)長

長・大分県中津市)では、本年8月26日のお運びで窪田卓夫氏の教会長任命の理のお許しを戴いておりますが、去る11月12日午前10時より大教会長夫妻(随員・原口実准役員)を迎え、4代会長就任奉告祭を執り行いました。参拝者39名。

挨拶に立った大教会長はまず、約30年間にわたって教会長を勤めて来られた窪田靖明前会長と一江夫人にお礼の言葉を贈られた上で、奉告祭にあたり三つの角目を述べられました。

一つ目は「おつとめは教会長を心に勇んで勤めさせて頂くことが大切」。二つ目は、かぐらづとめに学び、教会に繋がる人々はそれぞれ違う役割が与えられているとし、「一人ひとりに役割があることを自覚し、一手一つに勤めてほしい」。三つ目はおふでさき「月日にハセカイぢう、ハミナワガ子 たすけたいとの心ばかりで(ハ号4)を引用され、「親神様・教祖はたすけ一条のお心でいらっしやいます。成つて来ることには必ず親心があります。現れてくることには、何か思召があるはずだと、思案できるように勤めてほしい」と促され、最後に10月26日日本部秋季大祭における



### 本浜分教会初代ならびに4代会長サウザンパシフィック教会初代会長

### 岡崎ヨ子50年祭

本浜分教会(片山好治会長・横浜市神奈川区)では10月29日午前11時より大教会長夫妻を迎え、岡崎ヨ子刀自(本島大教会役員・本浜分教会初代ならびに4代会長・サウザンパシフィック教会初代会長)50年祭を執り行いました。参拝者75名。

年祭は大教会長祭主のもと、神殿の儀に続いて、てをどりが陽気に勤められ、祖霊殿の儀が執り行われました。

挨拶に立った大教会長は、岡崎ヨ子初代会長について、本島のみならず天理教におけるアメリカ布教の嚆矢として、



真柱様のお言葉を拝読し、「本新田分教会が、陽気ぐらしで出来るように」と締めくくられました。

直会では、窪田靖明前会長夫妻がお孫たちから、お礼の花束が贈られ、終始賑やかに行われました。

大きな足跡を残されたことに触れ、「私たちはヨ子先生を通して学ぶべきことが二つあると思います。一つ目は親の声を素直に聞き、しっかり教えを求め歩むこと。二つ目は常にご存命の教祖を心において通ることです。」と述べられました。

参拝者一同は、ヨ子会長は「神は絶対のもの」「親は絶対のもの」との信念を人々に説き、親神様・教祖を信じ切り、もたれ切つて通られた道を振り返り学び、只今の年祭の旬の歩みを進めさせて頂こうと

誓い合いました。

年祭にはヨ子会長の曾孫に当たる岡崎マロン・サウザンパシフィック教会長家族も参拝され、てをどりを一手一つに勤めました。

また記念品として小冊子「岡崎ヨ子先生の思い出・エピソード」を編さん。参拝者に配布しました。

### 安藝本中おちば団参

安藝本中分教会(池田さわみ会長・広島市中区)では、11月25・26日におちばがえり団参を実施。33名が帰参しました。おちば到着後、本部参拝、廻廊掃除ひのきしん。26日は月次祭参拝後、全員でおつとめを勤め、解散しました。





### 教会長夫妻おたすけ推進の集い

↓ 【年祭活動実行委員会】

- 日時：立教187年1月25日午後1時より
- 会場：本島詰所4階講堂
- 参加御供：1名につき500円
- 対象者：教会長ならびに配偶者、直属教会長が認めた者
- 講師：松村義司先生(本部長・たすけ委員会委員長)
- 参加申込書を1月20日まで大教会総務へご提出ください。
- 詰所の宿泊・食事の申込みは各自で詰所事務所へご予約ください。

### 布教の家入寮者募集

【布教部】

- 期間：3月29日「入寮研修会」から、翌年3月27日「卒業の集い」まで
- 資格：①所属教会長ならびに直属教会長から推薦された天理教同人。②年齢は問わない。ただし、毎日布教に歩くことができること。③既婚、未婚は問わないが、単身での入寮に限る。
- 願書：①入寮願、②経歴書、③健康調査票、④小論文「入寮の動機および心構え」、⑤写真2枚。願書は布教一課または各寮にて配布。
- 願書受付：1月25日午前9時から2月25日午後4時まで、布教一課へ持参。※郵送での提出はできません。各寮(教務支庁)では受付できません。
- 入寮研修会：入寮許可者に対し、3月29日～30日の2日間おちばにて研修会を開催し、終了後そのまま現地へ出発します
- 詳細については、布教一課(電話0743-63-2243直通)へお問い合わせ下さい

<https://www.honjima.com/>

### 新春雅楽講習会

【青年会本島分会】

- 日時：立教187年1月13日(土)～14日(日)
- 場所：本島詰所
- 内容：経験者は杵越調、初心者は平調

### 鼓笛隊北海道地区冬季合宿

【本島団鼓笛隊】

- 本島鼓笛隊第48回北海道地区冬季合宿
- 期間：1月12日(金)から14日(日)
- 会場：樺太分教会
- 派遣指導員：佐藤道子、奥村由多加

### 学修・高校卒業生コース

【本部学生担当委員会】

- 受講期間：立教187年3月10日(日)～12日(火)
- 申込期間：12月25日～1月31日
- 詳細につきましては、雲庵春彦(090-2515-8039)、横関茂治(090-1138-1690)までお問合せください。

### 『母親講座』アンケート

↓ 【婦人会本島支部】

- 『母親講座』についてのアンケート(8月22日配布済)を12月22日まで、直轄ごとまとめて提出お願いします。
- アンケート用紙は、本島ドットコムよりダウンロードできます。(トップページ>ダウンロード)
- 『母親講座』は『みちのだい育み塾』に名称が変わります。子育て中の母親とその同世代の人が対象です。

### 元旦祭餅つき

【総務部】

〈本部元旦祭餅つき〉

- 日時：12月27日(水)朝食後
- 場所：本島詰所

〈大教会元旦祭餅つき〉

- 日時：12月30日(土)朝食後
- 場所：本島大教会

↓ は、本島ドットコムより関連資料をダウンロードすることができます。トップページ>各種ダウンロード

### 12月ひのきしん派遣依頼

【総務部】

〈本部食堂ひのきしん〉

- 期間：12月1日～15日
- 派遣教会：赤峰分教会

〈大教会・炊事ひのきしん〉

- 期間：12月21日～22日
- 派遣教会：本京分教会

〈詰所・食堂ひのきしん〉

- 期間：12月25日～26日
- 派遣教会：本攝①、本豊後①

### 会計部より

【会計部】

- 立教187年お鏡料・御神酒料は一教会2,000円以上です。本年12月22日までに、大教会会計部へお納め下さい。

### 大教会月次祭ライブ中継

【本島通信編集室】

- 12月22日のライブ中継はございません。来年1月22日春季大祭は実施する予定です。

### 大教会長動向 ▶12月(予定)◀

- 3日、香川教区役職者会議
- 9日、岩橋肇1年祭
- 22日、大教会月次祭執行
- 23日、河原町大教会・越乃國大教会参拝
- 24日、修養科門出まなび
- 25日、かなめ会委員会
- 26日、本部月次祭参拝
- 30日、本部神殿奉仕当番

以上

【本島通信編集室より】

紙面編集の都合から、下記につきましては、来月号に掲載いたします。  
 〈記事〉天理教青年会総会、宮森先生おてなoshi  
 〈統計・記録〉統計(立教186年10月1日～31日)、おさづけの理拝戴者、教人資格講習会修了者、教会長資格検定合格者、をびや許し、証拠守り下附、ろくち会、少年会新隊長